

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

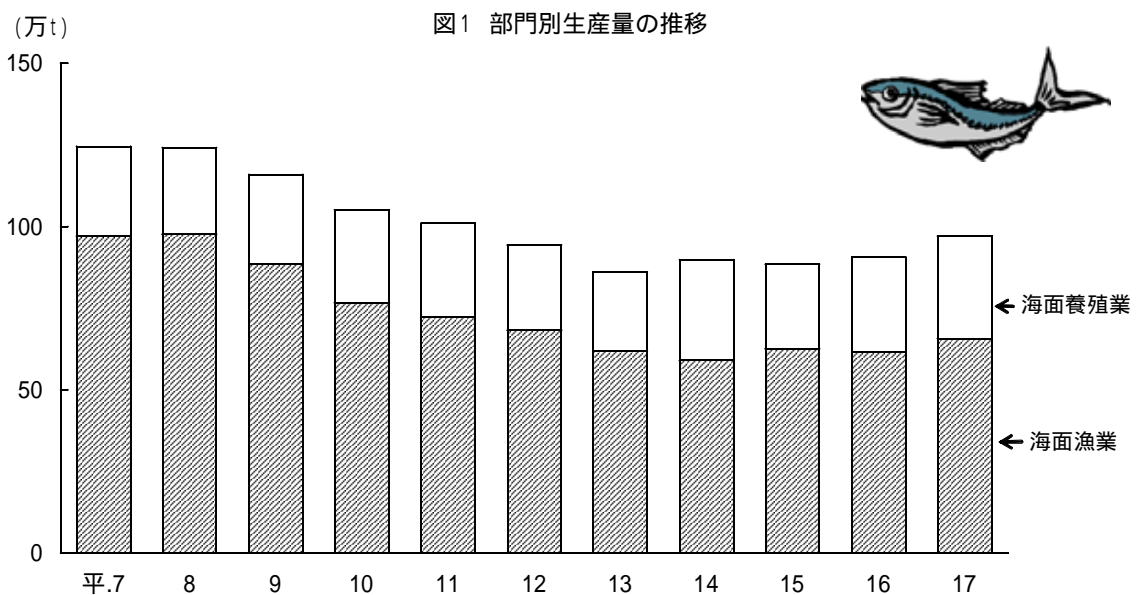
平成18年4月28日公表

平成17年九州の海面漁業・養殖業生産量(概数)

- 海面漁業の総生産量は、前年を上回る -

【調査結果の概要】

- 1 平成17年(1月～12月)の九州における海面漁業・養殖業の総生産量は 97万1,200 t で、前年に比べ 6万5,100 t (7%) 増加しました。
これは、海面漁業、海面養殖業ともに増加したためです。
なお、総生産量に占める海面漁業の漁獲量の割合は68%となりました。
- 2 海面漁業の漁獲量は 65万6,100 t で、前年に比べ 3万9,100 t (6%) 増加しました。
これは、まあじ、するめいか、むろあじ類等は減少したものの、さば類、かつお、かたくちいわしが増加したためです。
- 3 海面養殖業の収穫量は 31万5,100 t で、前年に比べ 2万6,000 t (9%) 増加しました。
これは、まだい等は減少したものの、ぶり類、のり類が増加したためです。



この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

【解 説】

1 海面漁業

- 65万6,100tで前年に比べ6%増加 -

(1) 主な漁業種類別漁獲量

ア 大中型1そうまき網

大中型1そうまき網の漁獲量は15万8,400tで、前年に比べ1万7,000t(12%)増加しました。

これは、さば類が大幅に増加したためです。

イ 中・小型1そうまき巾着網

中・小型1そうまき巾着網の漁獲量は15万tで、前年に比べ6,200t(4%)増加しました。

これは、まあじ、うるめいわしは減少したものの、さば類、かたくちいわしが増加したためです。

ウ まぐろはえ縄

まぐろはえ縄の漁獲量は5万500tで、前年に比べ4,800t(11%)増加しました。

これは、めばちは減少したものの、きはだ等が増加したためです。

エ いか釣

いか釣の漁獲量は4万900tで、前年に比べ5,700t(16%)増加しました。

これは、その他のいか類(あかいか)が増加したためです。

オ 定置網(大型・小型)

定置網の漁獲量は3万1,400tで前年に比べ1,500t(5%)減少しました。

これは、するめいか、まあじ等が減少したためです。

カ ひき回し船びき網

ひき回し船びき網の漁獲量は2万3,100tで、前年に比べ4,600t(25%)増加しました。

これは、しらす等が増加したためです。

図2 主な漁業種類別漁獲量の推移-1

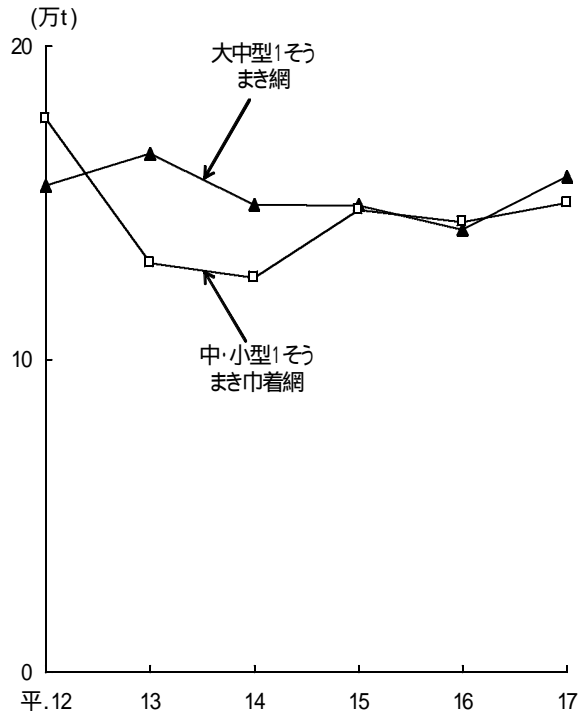
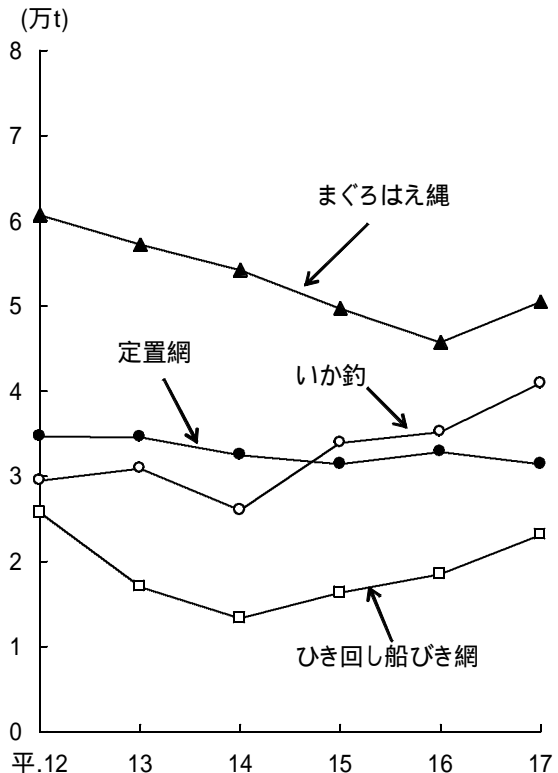


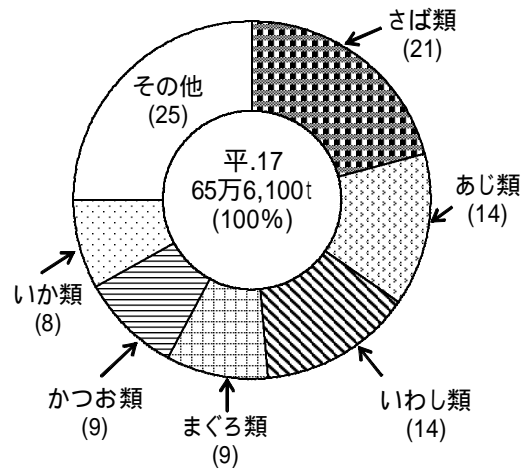
図3 主な漁業種類別漁獲量の推移-2



(2) 主な魚種別漁獲量

魚種別漁獲量に占める魚種の構成割合は、さば類が21%で最も高く、次いであじ類が14%、いわし類が14%、まぐろ類が9%となっています。

図4 魚種別漁獲量の構成割合



ア さば類

さば類の漁獲量は13万6,100tで、前年に比べ4万3,600t(47%)増加しました。

これは、大中型1そうまき網等で増加したためです。

イ あじ類

あじ類の漁獲量は9万2,000tで、前年に比べ1万9,100t(17%)減少しました。

これは、まあじ、むろあじ類が減少したためです。

ウ いわし類

いわし類の漁獲量は9万1,000tで、前年に比べ5,700t(7%)増加しました。

これは、うるめいわしは減少したものの、かたくちいわし、しらす等が増加したためです。

エ まぐろ類

まぐろ類の漁獲量は6万200tで、前年並みとなりました。

これは、びんなが、めばち等は減少したものの、きはだ等が増加したためです。

オ かつお類

かつお類の漁獲量は6万tで、前年に比べ1万t(20%)増加しました。

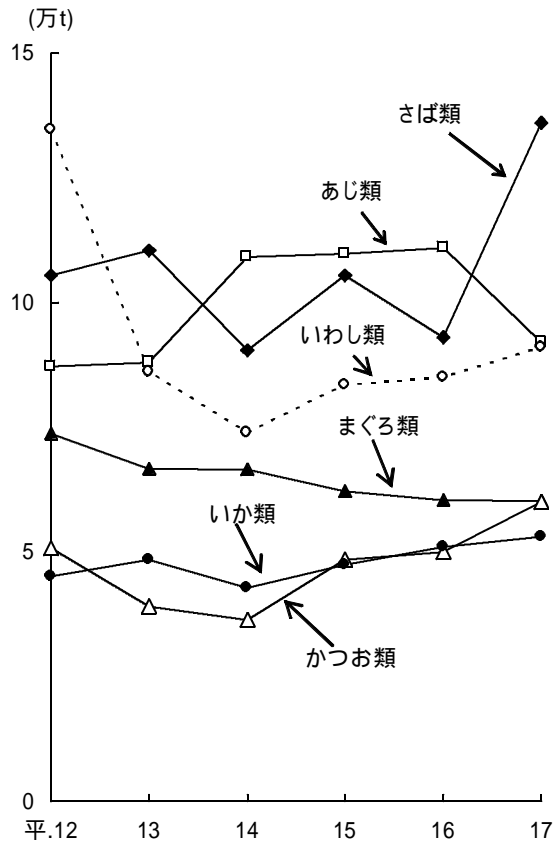
これは、かつお、そうだかつお類が増加したためです。

カ いか類

いか類の漁獲量は5万3,400tで、2,600t(5%)増加しました。

これは、するめいかが減少したものの、その他のいか類(あかい)等が増加したためです。

図5 主な魚種別漁獲量の推移



2 海面養殖業

- 31万5,100tで前年に比べ9%増加 -

主な養殖魚種別収穫量

ア のり類

のり類の収穫量は17万3,000tで、前年に比べ1万6,800t(11%)増加しました。

これは、適度な降雨と冷え込みにより成育が順調に経過したためです。

イ ぶり類

ぶり類の収穫量は10万6,100tで、前年に比べ1万600t(11%)増加しました。

これは、需要が増え、出荷量が増加したためです。

ウ まだい

まだいの収穫量は2万tで、前年に比べ1,200t(6%)減少しました。

これは、一部に赤潮の発生や台風被害等により減少したためです。

エ ひらめ

ひらめの収穫量は3,000tで、前年並みとなりました。

オ ふぐ類

ふぐ類の収穫量は2,900tで、前年に比べ200t(6%)減少しました。

これは、経営体数の減少等により出荷量が減少したためです。

カ くるまえび

くるまえびの収穫量は1,000tで、前年並みとなりました。

図6 主な養殖魚種別収穫量の推移-1

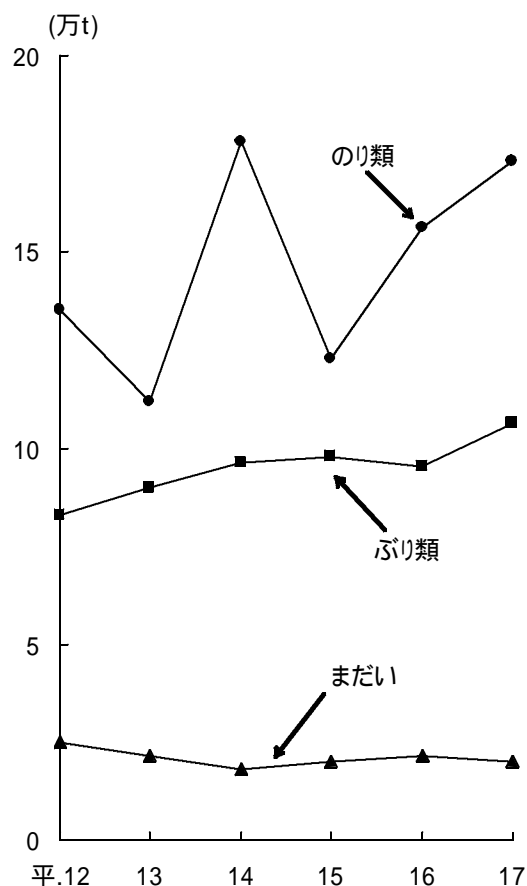
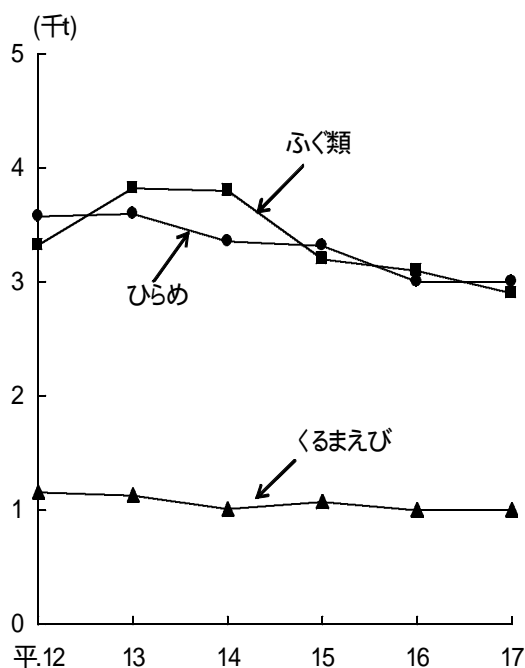


図7 主な養殖魚種別収穫量の推移-2



【 統 計 表 】

1 海面漁業・養殖業生産量総括表

単位：100t

年次	計	海面漁業	海面養殖業
平. 7	12 457 (100)	9 707 (78)	2 750 (22)
8	12 424 (100)	9 762 (79)	2 662 (21)
9	11 593 (100)	8 868 (76)	2 726 (24)
1 0	10 511 (100)	7 660 (73)	2 851 (27)
1 1	10 106 (100)	7 246 (72)	2 860 (28)
1 2	9 434 (100)	6 834 (72)	2 600 (28)
1 3	8 613 (100)	6 208 (72)	2 404 (28)
1 4	8 983 (100)	5 897 (66)	3 086 (34)
1 5	8 845 (100)	6 271 (71)	2 574 (29)
1 6	9 061 (100)	6 170 (68)	2 891 (32)
1 7	9 712 (100)	6 561 (68)	3 151 (32)
対前年差	651	391	260
対前年比(%)	107	106	109

注：() 書きの数値は構成割合(%)です。

2 海面漁業

(1) 主な漁業種類別漁獲量

単位：100t

漁業種類	平. 1 7	1 6	対前年差	対前年比(%)
計	6 561	6 170	391	106
以西底びき網	59	78	19	76
小型底びき網	196	164	32	120
ひき回し船びき網	231	185	46	125
大中型1そうまき網	1 584	1 414	170	112
中・小型1そうまき巾着網	1 500	1 438	62	104
中・小型2そうまき巾着網	69	73	4	95
刺網	176	197	21	89
定置網(大型・小型)	314	329	15	95
まぐろはえ縄	505	457	48	111
かつお一本釣(遠洋・沿岸)	179	189	10	95
いか釣	409	352	57	116
ひき縄釣	73	73	0	100
その他の釣	158	174	16	91
採貝	141	122	19	116
採藻	44	39	5	113
上記以外の漁業	923	886	37	104

注：「その他の釣」とは、釣漁業のうち「はえ縄」、「かつお一本釣」、「いか釣」、「さば釣」、「ひき縄釣」以外のものをいう。

(2) 魚種別漁獲量

単位：100t

魚	種	平. 17	16	対前年差	対前年比(%)
合	計	6 561	6 170	391	106
魚	類 計	5 613	5 302	311	106
	まぐろ類	602	603	1	100
	かじき類	41	41	0	100
	かつお	544	450	94	121
	そうだかつお類	56	50	6	112
	このしろ	35	32	3	109
	まいわし	11	7	4	157
	うるめいわし	103	135	32	76
	かたくちいわし	635	589	46	108
	しらす	161	122	39	132
	まあじ	828	967	139	86
	むろあじ類	92	144	52	64
	さば類	1 361	925	436	147
	ぶり類	113	140	27	81
	ひらめ・かれい類	32	36	4	89
	えそ類	19	21	2	90
	たちうお	52	57	5	91
	まだい	54	55	1	98
	ちだい・きだい	32	36	4	89
	さわら類	31	26	5	119
	しいら類	31	35	4	89
	とびうお類	36	34	2	106
	ふぐ類	24	22	2	109
	その他の魚類	720	775	55	93
	えび類 計	35	34	1	103
	くるまえび	4	5	1	80
	その他のえび類	31	29	2	107
	かに類 計	12	15	3	80
	がざみ類	9	11	2	82
	その他のかに類	3	4	1	75
	貝類 計	224	175	49	128
	あさり類	80	55	25	145
	さるぼう(もがい)	102	70	32	146
	その他の貝類	42	50	8	84
	いか類 計	534	508	26	105
	こういか類	27	26	1	104
	するめいか	150	216	66	69
	その他のいか類	357	266	91	134
	たこ類	44	42	2	105
	うに類	24	22	2	109
	なまこ類・水産動物等	22	22	0	100
	海藻類 計	52	49	3	106
	ひじき	31	26	5	119
	その他の海藻類	21	23	2	91

3 海面養殖業

主な海面養殖業魚種別収獲量

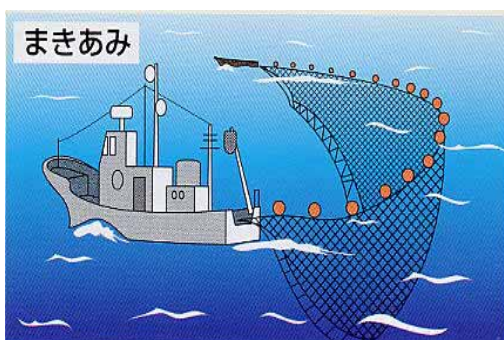
単位：100t

魚種	平. 17	16	対前年差	対前年比(%)
合計	3 151	2 891	260	109
ぶり類	1 061	955	106	111
まだい	200	212	12	94
ひらめ	30	30	0	100
ふぐ類	29	31	2	94
くるまえび	10	10	0	100
わかめ類	18	21	3	86
のり類	1 730	1 562	168	111
上記以外	73	70	3	104

注：のり類養殖については、生換算した重量です。

〔統計表の見方等〕

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。
- 表中に用いた記号は以下のとおりです。
 - 「 」は減少したもの
 - 「0」単位に満たないもの

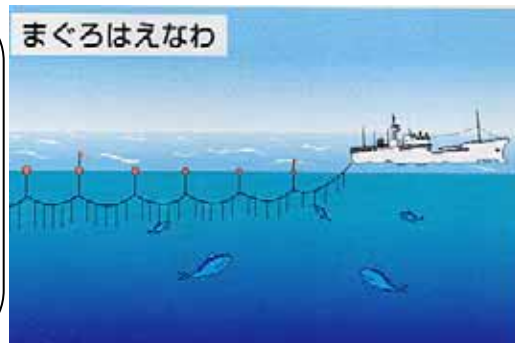


回遊魚を網具で包囲し、その逃路を断ち次第に包囲形を縮小して採捕する漁業。

平成17年に増加した主な魚種は、さば類、かたくちいわしでした。

幹縄に多数の枝縄を付け、この先端に釣り針を結着した漁具を横に長く延べて行う漁業。

遠洋まぐろはえ縄の幹縄の長さは数十kmに及び、沿岸で使用されるものでも10km程度のももある。



【調査の仕様】

1 調査の目的

海面漁業生産統計調査は、我が国の海面漁業、海面養殖業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政の資料を整備することを目的とします。

2 調査の対象

海面漁業生産統計調査（稼働量調査、海面漁業漁獲統計調査及び海面養殖業収獲統計調査）は、海面に沿う市区町村及び漁業法第86条第1項に基づく指定市町村（昭和31年農林水産省告示第427号）の区域内（滋賀県東浅井郡虎姫町を除く。）にある海面漁業経営体及び水揚機関を対象としました。

3 調査客体数

- （1）稼働量調査：漁業調査区 約1,200、養殖業調査区 約350
- （2）海面漁業漁獲統計調査：水揚機関 約430客体、海面漁業経営体 約8,000客体
- （3）海面養殖業収獲統計調査：水揚機関等 約420客体

4 調査期間

調査期間は、平成17年1月1日～12月31日の1年間です。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、陸揚等のために港に入港した日の属する年に含めて調査を行いました。

5 調査方法

（1）稼働量調査

統計調査員による調査客体への面接聞き取りの方法により実施しました。

（2）海面漁業漁獲統計調査及び海面養殖業収獲統計調査

調査客体からの自計申告又は職員による面接聞き取りの方法により実施しました。

6 集計方法

水揚機関等の調査結果を積み上げて集計しました。

なお、集計値の計上方法は、以下のとおりです。

- （1）海面漁業生産統計調査は、海面漁業経営体の所在地に計上しました。

7 目標（実績）精度

海面漁業生産統計調査においては、目標精度は設定していません。

8 用語等の解説

（1）遠洋漁業

遠洋底びき網、以西底びき網、大中型遠洋かつお・まぐろ1そうまき網、遠洋まぐろはえ縄、遠洋かつお一本釣、遠洋いか釣、その他のはえ縄のうち日口民間操業に係る漁業、その

他の漁業のうち大西洋はえ縄等漁業及び日口民間操業に係る漁業をいう。

(2) 沖合漁業

10トン以上の動力漁船を使用する漁業のうち、遠洋漁業、定置網漁業及び地びき網漁業を除いたものをいう。

(3) 沿岸漁業

漁船非使用漁業、無動力船及び10トン未満の動力漁船を使用する漁業並びに定置網漁業及び地びき網漁業をいう。

9 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は平成19年刊行予定の『東シナ海地域及び九州における漁業動向』に掲載します。

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第5係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4755

直通電話： 096 - 353 - 7576

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4723

直通電話： 096 - 353 - 7556